

公開  
シンポジウム

# 病院の世紀から 地域包括ケアの時代へ

期 日／平成25年**11月29日**金

場 所／秋田市民交流プラザ アルヴェ2階 多目的ホール

参加費／500円(軽食付き) 軽食が不要の方は無料で入場いただけます。

講演／18:00～

座長：秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座 教授 多治見 公高

## 病院の世紀の理論からみえるケア展望

一橋大学大学院社会学研究科 教授 猪飼 周平

シンポジウム／19:00～

司会：秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座 教授 多治見 公高

## 秋田県の地域包括ケアを考える

一橋大学大学院社会学研究科 教授 猪飼 周平

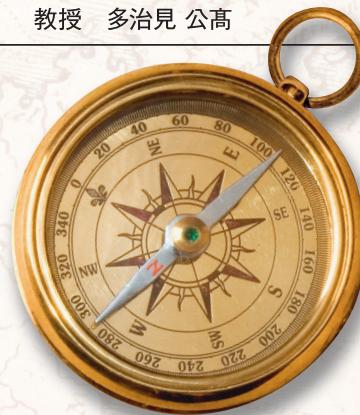
秋田県医師会 常任理事 伊藤 伸一

秋田往診クリニック 院長 市原 利晃

訪問看護ステーションあきた 看護師 菊地富貴子

ピー・アンド・エス 薬剤師 斎藤 淳

秋田県健康福祉部 福祉政策課 課長 金子 治生



猪飼 周平 先生 [いかい・しゅうへい]

主要研究領域／医療政策・社会政策・社会福祉・比較医療史

医療政策研究は、大学院修士課程において、医療専門職のキャリア研究を行ったことが契機。その後、日米英3カ国における医療システムの変遷を、過去100年に渡って比較することを通じて、20世紀の医療の特質について総括する仕事をしてきた。その成果は、『病院の世紀の理論』有斐閣として公刊されている。そこで見出された知見は、一口にいえば、20世紀医療は極端に治療医学に対する高い信頼の上に成り立っていたという点で、19世紀とも、おそらく21世紀とも異なる特殊な時代であったというものである。現在は、この知見を踏まえ、21世紀の医療だけでなく広く人びとの健康を支える保健・医療・福祉を包括する社会システムのあり方について展望的知識の発見に努めているところである。

(一橋大学・大学院社会学研究科・社会学部 ホームページより)

主 催：一般財団法人本道医学振興会

共 催：秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座

後 援：秋田県・秋田県医師会

連絡先：秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座

TEL.018-884-6185 担当 奥山 学